

2023.6.15



地域日本語支援ニュース こだま 第 432 号

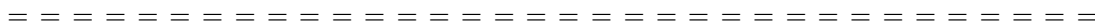
ともに生きる
～地域で、日本で、そして世界で～



★—— メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます。——★
【地域日本語支援ニュース 「こだま」】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会（AJALT）発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。

★—— 皆様からのご意見、ご感想をお待ちしています。——★

編集部：<https://www.ajalt.org/local/soudan/contact.html>



■AJALT からのお知らせ■

6 月 10 日刊行！

機関誌『AJALT』46 号発行に寄せて

編集長 内藤 真知子

機関誌『AJALT』（アジャルト）は社団法人化の 1977 年以来、年に 1 回、AJALT 所属の日本語教師によって企画・編集・発行を続けてきた機関誌です。日本語教育界からの発信という創刊以来の精神を受け継ぎ、今年も第 46 号を刊行することができました。

◆巻頭インタビュー「私とことば」

「だれにも魔法はあるー好きなものが魔法になる」角野栄子

創刊号以来、エッセイまたはインタビューの形で続けてきた「私とことば」。これまでも多様な分野の方々にご登場いただいていたのですが、第 46 号は、

絵本、児童文学、翻訳、ドキュメンタリー、小説、エッセイと多数の著作をお持ちの角野栄子さんへのインタビューです。『魔女の宅急便』などの名作で知られ、国際アンデルセン作家賞受賞、おしゃれなファッションでも有名な角野さんに、その独特なオノマトペの秘密、ことばとからだ、移民としてブラジルに渡り外国語を覚えた体験、ひいては多文化共生についてのお考えや子供たちへのメッセージ等、たっぷりとお話を伺いました。角野さんのカラフルな写真とともに楽しみください。

◆特集「日本語教育—この人間的な営み—」

日本語を学ぶ人は多様です。その多様な学習者に向き合う日本語教師もまた、多様な背景をもっています。多様な背景をもつ教師が、多様な学習者に、ことばの支援という形で向き合うとき、実にユニークで個別的かつ人間的な実践が立ち上がります。本特集では、日本語教育を「人と人との心の通った活動」と考える記事を掲載しました。

広島大学特任教授西口光一先生より「人格を中心に据えた自己表現活動の日本語教育への転換」、横浜国立大学名誉教授門倉正美先生より「日本語教育／学習の場にデザイン思考を取り入れよう!」、そして国際交流基金日本語上級専門家村上吉文氏からは「日本語教師のサードスペース — ライフワークはネットワークづくり —」をご寄稿いただきました。

いずれも教師、学習者、そして学習をモノ化しない、人間味あふれる日本語教育を志向する、示唆にあふれる論考です。

併せて、個人授業から大学、企業、難民・避難民への日本語教育に至るまでの、幅広い分野における、AJALT 教師 会員の実践報告を掲載しました。

◆取材記事「学習者と行く 心に響く面白スポット」

学習者と行けば必ず心動かされ、会話がはずむであろう3つの面白スポットをカラーで紹介しています。ことばの学びは教室の中だけで起きるものではない。その実践の参考にしていただければと思います。

◆新企画「味わう日本語」

東京聖栄大学教授福留奈美先生に「食文化を通して気づく違いと共通点」をご寄稿いただき、食をテーマにした日本語学習へのご提案をいただきました。誰しも食べることは大好き。学習者から寄せられた食にまつわるエッセイも興味深いものです。

◆新企画「会員エッセイ—今、私がAJALT（ここ）にいる理由（わけ）—」

4人のさまざまな背景をもつ教師会員によるエッセイです。改めて知る個々の会員の背景に、同じ協会に所属している身でありながら、新鮮な発見がありました。

◆定例記事「日本語教師 海外だより」

ポーランドで活動中のシニア世代の会員からは、ロシアによるウクライナ侵攻を身近に感じ、心を痛めつつ活動する生の声が届きました。

◆定例記事「学習者の作品から」

今年もまた、AJALTを通して日本語を学ぶ学習者の皆さんから多くの作品が寄せられました。担当講師のコメントと併せてお読みください。

◆表紙デザインの刷新

46号では表紙を一新、これまでのグラフィック系のデザインから、AJALT会員が撮影した写真の表紙に変更しました。特集のキーワード「人間的な営み」を彷彿（ほうふつ）させる表紙となっています。

国による日本語教育の制度化の動きが進行中の現在、このような流れの中にあっても、個々の日本語教育活動は決して画一的なものではなく、それぞれに具体的かつきわめて「人間的な営み」であるということ、46号を通じて感じていただければ幸いです。

ぜひ『AJALT』46号をお手に取ってご覧ください。

★機関誌『AJALT』46号は、当協会HPよりご購入いただけます。

定価 880円（本体 800円）+送料

<https://www.ajalt.org/about/bulletin/>

※AJALTはAssociation for Japanese Language Teachingの頭文字をとった通称です